

<予想分配金提示型・為替ヘッジあり>

第11期末 (2023年9月15日)	
基準価額	7,949円
純資産総額	14百万円
第9期～第11期 (2023年3月16日～2023年9月15日)	
騰落率	△2.8%
分配金合計	0円

<予想分配金提示型・為替ヘッジなし>

第11期末 (2023年9月15日)	
基準価額	10,729円
純資産総額	44百万円
第9期～第11期 (2023年3月16日～2023年9月15日)	
騰落率	9.6%
分配金合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区丸の内1-6-6

# ニッセイSDGs インカムファンド

(予想分配金提示型・為替ヘッジあり)  
(予想分配金提示型・為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／債券

## 運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2023年3月16日～2023年9月15日

第9期 (決算日 2023年5月15日)

第10期 (決算日 2023年7月18日)

第11期 (決算日 2023年9月15日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイSDGsインカムファンド(予想分配金提示型・為替ヘッジあり) / (予想分配金提示型・為替ヘッジなし)」は、このたび第11期の決算を行いました。

各ファンドは、「ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド」および「ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド」受益証券への投資を通じて、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## ニッセイアセットマネジメント株式会社における「ESGファンド」について

ニッセイアセットマネジメント株式会社（以下「弊社」といいます）は、ファンドの設定目的や運用方針等をもとに、弊社が設定・運用する公募投資信託において「ESGファンド」と位置付けるファンドを分類しています。

当ファンドは、「ESGファンド」に該当いたします。

以下に弊社における「ESGファンド」の考え方をご説明いたします。

### ■ ESG運用とは

まず、ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の頭文字をとった言葉で、ESG運用とはこれらの要素を投資判断に加味する運用のことをいいます。ESG運用については、持続可能な社会および国際金融システムの実現をめざすために、2006年に国連が中心となり提唱した責任投資原則（PRI：Principles for Responsible Investment）をきっかけとして広まっている考え方です。

### ■ 弊社の「ESGファンド」の考え方について

弊社ではESG要素を積極的に活用し、ポートフォリオを構築するファンドを「ESGファンド」としています。「アクティブファンド」において、ESG要素を積極的に活用する運用とは、相対的にESG評価の高い銘柄を選別したり、ESGの観点でインパクト創出可能な銘柄を選別したりする運用のことをいいます\*1。運用ファンド全体の中でESGファンド以外の区分としては、ESG要素を体系的に運用プロセスに組み込んでいるファンド、ネガティブスクリーニング\*2などでESG要素を考慮しているファンド、およびESG要素を考慮していないファンドがあります。

なお、ESGファンドの中で、特にSDGs\*3のゴール達成という観点においても優れた投資銘柄でポートフォリオを構築するファンドを「SDGsファンド」、また環境や社会へのインパクト創出も企図し、その効果をレポートするファンドを「インパクトファンド」としています。

\*1 「インデックスファンド」においては、ESG要素を積極的に活用して構成されていると弊社が考える指数に連動するファンドをESGファンドとしています。

\*2 ESGの観点から特定の銘柄等を投資対象から除外することをいいます。

\*3 Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）のことです。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。

### < ESGファンドの考え方（イメージ） >

#### 運用ファンド全体

ネガティブスクリーニングなどでESG要素を考慮しているファンド

ESG要素を体系的に運用プロセスに組み込んでいるファンド

**ESGファンド**

ESG要素を積極的に活用し、  
ポートフォリオを構築するファンド  
(SDGs・インパクトファンドを含む)

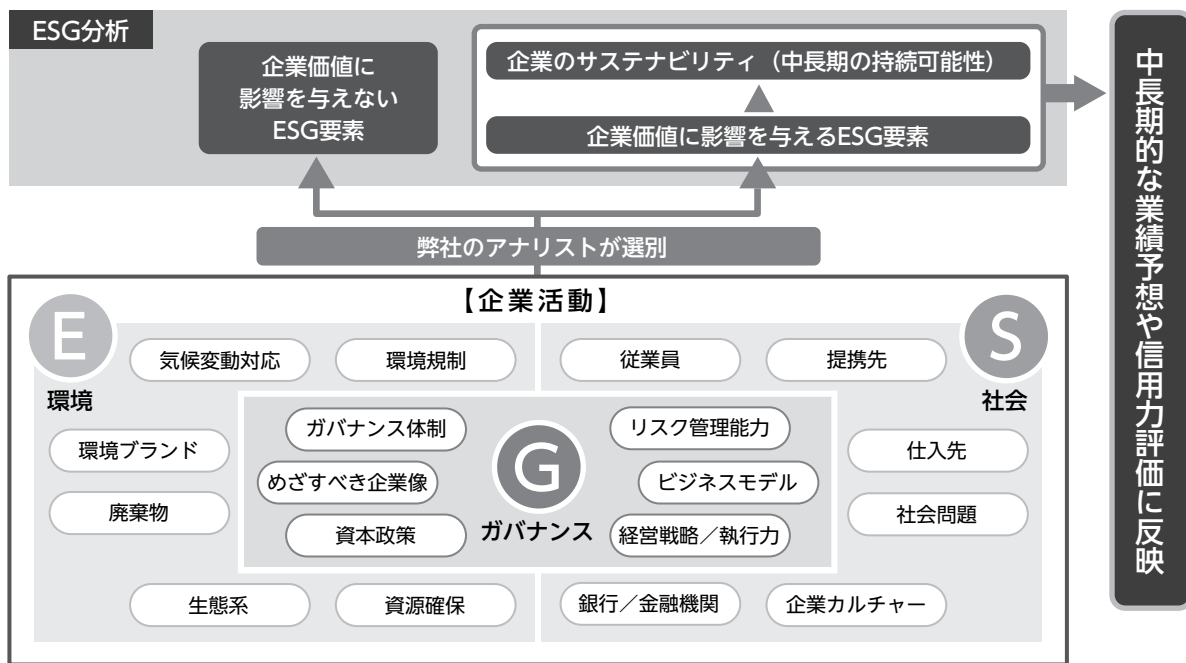
ESG要素を考慮していないファンド

## ■ 弊社のESGに対する考え方について

弊社では、ESGは企業のあらゆる活動に影響を与える要素であると考えており、企業のESGに関する取り組みを分析することで、企業のサステナビリティ（中長期的な持続可能性）や中長期的な企業像を把握することができると考えています。また、一般にESGの観点で優れた取り組みを行い、ステークホルダー（企業のあらゆる利害関係者）との持続的な関係を構築できる企業は、中長期的に持続的な成長基盤を有していると考えられます。

弊社では、アナリストが、ESG要素の中で企業価値に影響を与えるものを企業毎に選別しながらサステナビリティの評価（ESGレーティング（詳細は後述）\*の付与）を行います。その評価を中長期的な業績予想や信用力評価に反映させ、投資判断の土台として活用しています。

### < 企業活動と弊社のESG評価（イメージ） >



※弊社の「ESGレーティング」について

弊社のESG評価は、企業のESGに関する取り組みが中長期的な企業価値に「ポジティブか」「中立的か」「ネガティブか」の原則3段階とし、1～3のESGレーティングを付与しています（レーティング1が高評価）。ただし、ESGの取り組みを通じて企業価値の大きな業損が懸念されるものの、時価総額が大きい等の理由で投資ユニバースとして継続する企業には、レーティング4を付与することがあります。なお、企業のESGレーティングの付与においては、グローバルに共通のプラットフォームを用いながら資産横断的に独自の評価を実施しています。

### < E S Gレーティングの内容 >

レーティング	内容
1	企業の E S Gに関する取り組みが企業価値にポジティブ
2	企業の E S Gに関する取り組みが企業価値に中立
3	企業の E S Gに関する取り組みが企業価値にネガティブ
4	企業の E S Gに関する取り組みが企業価値に大きくネガティブ
付与なし	流動性や信用リスク等の観点から原則アクティブ運用の投資ユニバース外

なお、第三者の運用会社に運用の委託等を行う外部運用における E S Gに対する考え方や E S Gレーティングの付与手法などについては、上述の限りではありません。

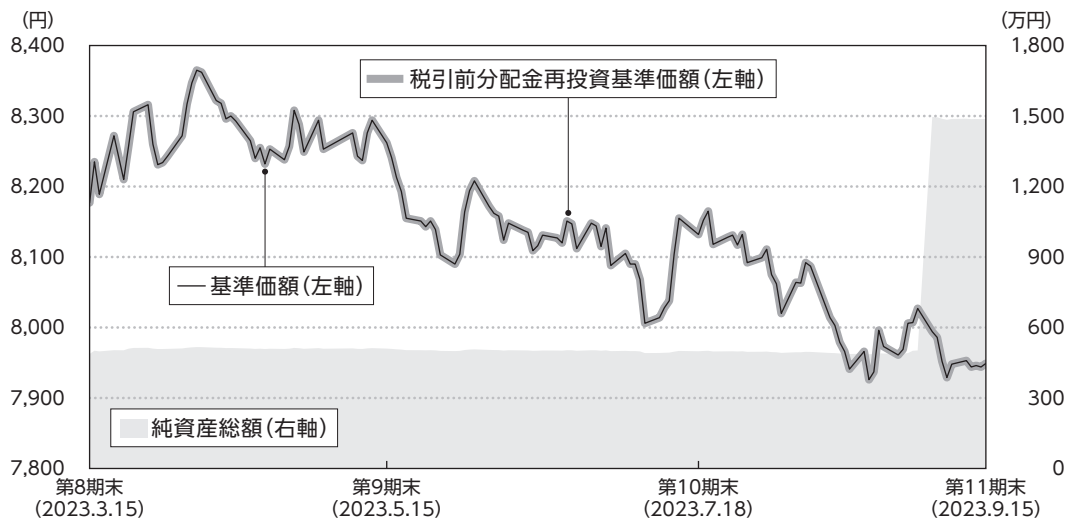
以 上

弊社の E S Gファンドの考え方等は、今後の E S Gを取り巻く情勢等に応じ見直す場合があります。

## 運用経過

2023年3月16日～2023年9月15日

### 基準価額等の推移



第9期首	8,177円	既払分配金	0円
第11期末	7,949円	騰落率 (分配金再投資ベース)	△2.8%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・3月下旬から4月上旬にかけて発表された、2月の米コア個人消費支出（PCE）価格指数の伸びや3月の米サプライマネジメント協会（ISM）製造業景況感指数などの統計が市場予想を下回ったことを受け、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げペース鈍化が意識されたことなどから、欧米金利が低下（債券価格は上昇）したこと

<下落要因>

- ・5月中旬から5月末にかけて、FRBのジェファーソン理事やダラス連銀のローガン総裁など米連邦公開市場委員会（FOMC）メンバーによる金融引き締めに関する積極的な発言が相次いだことや米社債発行市場が活況であったことから、欧米金利が上昇したこと
- ・8月中旬に発表された7月の米生産者物価指数（PPI）や4-6月期のイギリス国内総生産（GDP）が市場予想を上回ったこと、FOMC議事要旨で追加利上げが示唆されたことなどを受け、FRBや欧州中央銀行（ECB）による金融引き締めの長期化が意識され、欧米金利が上昇したこと

組入マザーファンド	組入比率	騰落率
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	67.8%	9.7%
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	32.9	10.9

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第9期～第11期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	37円	0.458%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,141円です。
(投信会社)	(18)	(0.221)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(18)	(0.221)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	0	0.006	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(先物・オプション)	( 0)	(0.006)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	48	0.590	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(47)	(0.578)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 1)	(0.008)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	86	1.054	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

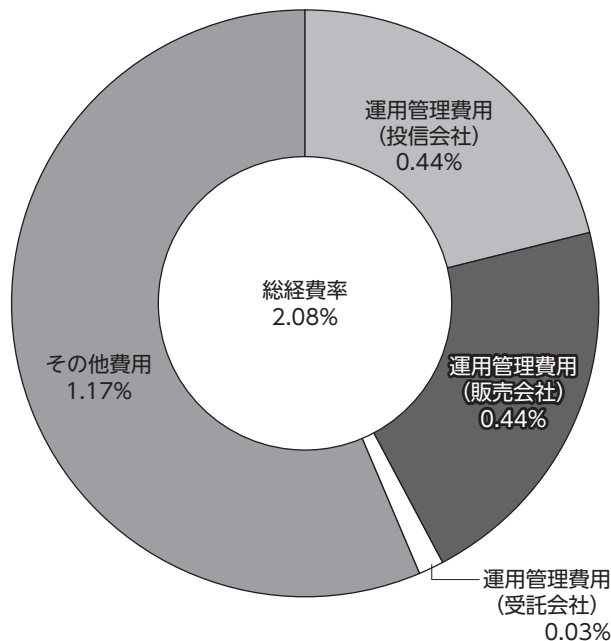
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.08%**です。



（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

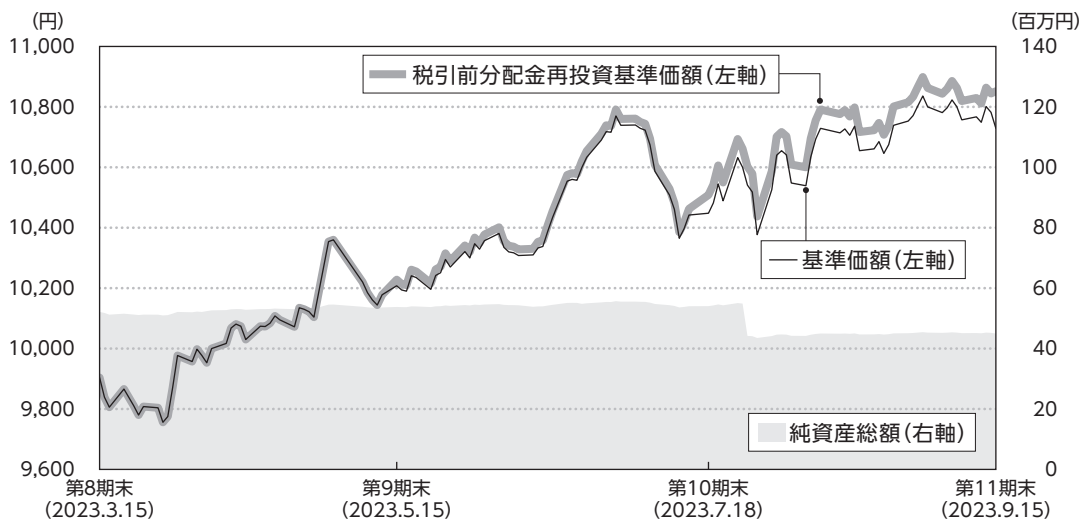
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## 基準価額等の推移



第9期首	9,904円	既払分配金	120円
第11期末	10,729円	騰落率 (分配金再投資ベース)	9.6%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 当作成期を通じて欧米各国の金利が上昇した一方で、日銀はイールドカーブ・コントロール（長短金利操作、YCC）の政策修正は行わなかったことから国内金利は低水準で推移し、海外との金利差が広がったことにより、円が主要通貨に対して大幅下落したこと
- ・ 5月中旬から7月下旬にかけて、投資家のリスク選好姿勢の強まりを背景に欧米社債スプレッドが大幅縮小したことなどから、欧米社債利回りが低下したこと

<下落要因>

- ・ 8月中旬に発表された、7月の米PPIや4-6月期のイギリスGDPが市場予想を上回ったこと、FOMC議事要旨で追加利上げが示唆されたことなどを受け、FRBやECBによる金融引き締め長期化が意識され、欧米金利が上昇したこと

組入マザーファンド	組入比率	騰落率
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	67.2%	9.7%
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	32.6	10.9

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第9期～第11期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	48円	0.459%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,382円です。
(投信会社)	(23)	(0.221)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(23)	(0.221)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	0	0.004	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(先物・オプション)	( 0)	(0.004)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	2	0.015	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	( 0)	(0.005)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 1)	(0.005)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	50	0.478	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

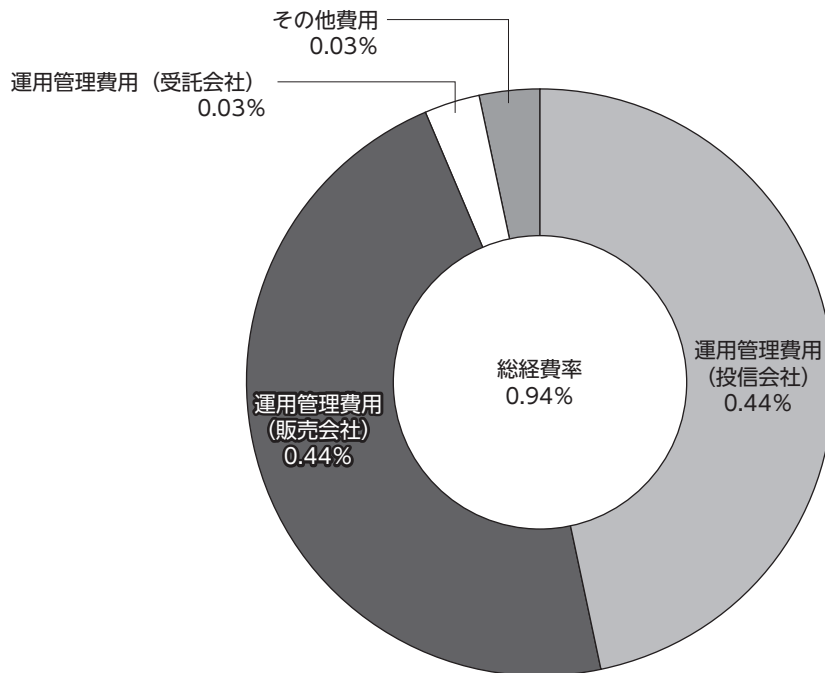
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.94%**です。



（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

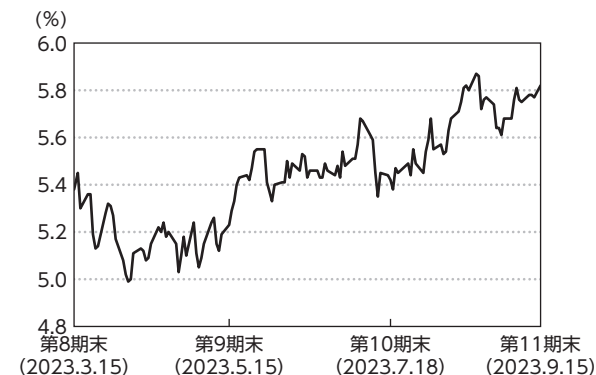
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■北米社債市況

【ブルームバーグ米国社債インデックス (利回り) の推移】



(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。以下同じです。

社債利回り（ブルームバーグ米国社債インデックス（利回り））は、当作成期を通じて見ると上昇しました。米国国債利回りが上昇基調で推移する展開となったことを受けて、社債利回りも同様の動きとなりました。

社債スプレッドについては、金融引き締めに伴う企業の調達コスト上昇や銀行の貸し出し態度の厳格化が懸念される一方、企業業績が堅調であることや利回り重視の投資家による需要の高まり、投資家のリスク選好姿勢の積極化を主因に縮小しました。

## ■欧州社債市況

【ブルームバーグ欧州社債インデックス (利回り) の推移】

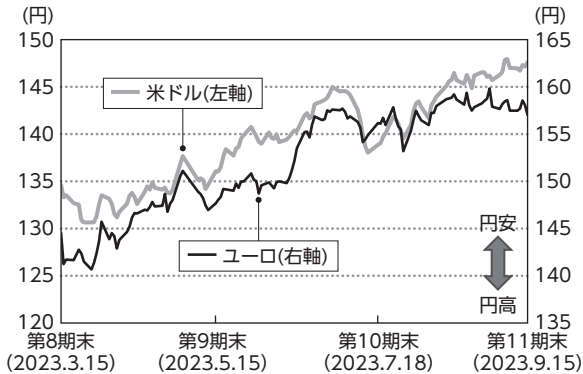


社債利回り（ブルームバーグ欧州社債インデックス（利回り））は、当作成期を通じて見ると上昇しました。欧州国債利回りが上昇基調で推移する展開となったことを受けて、社債利回りも同様の動きとなりました。

社債スプレッドについては、金融引き締めに伴う企業の調達コスト上昇や銀行の貸し出し態度の厳格化が懸念される一方、企業業績が堅調であることや利回り重視の投資家による需要の高まり、投資家のリスク選好姿勢の積極化を主因に縮小しました。

## ■為替市況

【為替レートの推移】



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル／円レートはF R Bによる継続的な利上げが上昇要因となり、当作成期を通じて見ると上昇しました。7月上旬には日銀によるY C Cの修正期待感から一時、円高基調となったものの政策修正には至らず、その後は再び円安基調での推移となりました。

ユーロ／円レートはE C Bによる継続的な利上げが上昇要因となり、当作成期を通じて見ると上昇しました。7月上旬には日銀によるY C Cの修正期待感から一時、円高基調となったものの政策修正には至らず、その後は再び円安基調での推移となりました。

## ポートフォリオ

### ■各ファンド

「ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド」および「ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド」への投資を通じ、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。なお「予想分配金提示型・為替ヘッジあり」については、実質組入外貨建資産において、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

### ■ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド

北米の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当作成期末における国・地域別投資状況はアメリカ(96.5%)、カナダ(3.5%)であり、格付別投資状況はAA格(3.7%)A格(41.0%)、BBB格(55.3%)です。

(注1) 比率はマザーファンドにおける対組入債券評価額比です。以下同じです。

(注2) 格付はムーディーズ社、S&P社のうち、上位の格付を採用しています。以下同じです。

#### 組入上位5銘柄

	銘柄	比率	主な関連するSDGs/SDGs達成に関連した安定的なキャッシュフロー創出の取り組み
1	ファイサーブ	4.7%	SDGs目標「働きがいも経済成長も」に貢献。 米決済取引処理サービス企業。金融機関の重要な業務・取引処理を支えることで、人々の金融サービスへのアクセス促進に寄与。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
2	ワールプール	4.7%	SDGs目標「安全な水とトイレを世界中に」等に貢献。 米家電メーカー。エネルギーや水の消費量を抑えた環境配慮型家電製品等を提供し、人々の生活の質の向上に寄与。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
3	CVSヘルス	3.9%	SDGs目標「すべての人に健康と福祉を」に貢献。 米ドラッグストアチェーン。保険・医療機器、サービス情報へのアクセスの確保により精神衛生を含む健康福祉の促進に寄与。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
4	アマゾン・ドットコム	3.7%	SDGs目標「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」等に貢献。 米オンライン小売事業者。クラウドサービスプロバイダーとして効率を高め、結果的に総電力使用量減に寄与。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
5	ボストン・サイエンティフィック	3.7%	SDGs目標「すべての人に健康と福祉を」に貢献。 米医療機器メーカー。心臓疾患、神経疾患など外科的治療・診断機器を提供しており、予防や治療を通じた精神保健および福祉の促進へ寄与。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。

## 組入銘柄のESGレーティング (2023年8月末時点)

区分	比率
レーティング 1(最高位)	52.1%
レーティング 2	47.9%
レーティング 3	—
レーティング 4	—
レーティングなし	—

(注1) 各銘柄のESGの取り組みに対する当社のESG評価を記載しています。以下同じです。

(注2) 区分の詳細につきましては、前掲の<ESGレーティングの内容>をご参照ください。以下同じです。

## ■ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド

欧州の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における国・地域別投資状況は組入比率の高い順にフランス(36.8%)、オランダ(19.1%)、イギリス(15.4%)であり、格付別投資状況はAA格(10.4%)、A格(34.0%)、BBB格(55.5%)です。

### 組入上位5銘柄

	銘柄	比率	主な関連するSDGs/SDGs達成に関連した安定的なキャッシュフロー創出の取り組み
1	カデント・ファイナンス	4.0%	SDGs目標「産業と技術革新の基盤を作ろう」等にご貢献。 イギリスのガス配給ネットワーク事業者。人々に安価かつ公平にアクセス可能で持続可能なエネルギーインフラを提供。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
2	ボーダフォン・グループ	3.9%	SDGs目標「産業と技術革新の基盤を作ろう」等にご貢献。 イギリスに拠点を置く通信事業者。ネットワークインフラへの投資を継続し、新興国における高品質な通信インフラ・アクセス網の構築にご貢献。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
3	ABNアムロ銀行	3.9%	SDGs目標「働きがいも経済成長も」等にご貢献。 オランダ三大銀行の一角。居住用住宅ローンや社会的インパクト投資を通じ、金融サービスへのアクセス改善、中小零細企業の成長促進にご貢献。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
4	サンゴバン	3.8%	SDGs目標「住み続けられるまちづくりを」等にご貢献。 グローバルな建築用資材メーカー。断熱材やガラス製品は建物のエネルギー消費量削減に寄与。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
5	BPCE	3.8%	SDGs目標「貧困をなくそう」等にご貢献。 フランス4大銀行グループの一角。住宅、環境エネルギー、生物多様性保護などへの投融資を通じ、政策促進、金融サービスへのアクセス改善にご貢献。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。



## 組入銘柄のESGレーティング (2023年8月末時点)

区分	比率
レーティング 1(最高位)	47.0%
レーティング 2	53.0%
レーティング 3	—
レーティング 4	—
レーティングなし	—

## ベンチマークとの差異

### ■ 予想分配金提示型・為替ヘッジあり

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

### ■ 予想分配金提示型・為替ヘッジなし

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

### ■ 予想分配金提示型・為替ヘッジあり

当作成期の分配金は、各決算日の前営業日の基準価額が当運用報告書「各ファンドの概要」分配方針記載の10,100円未満であることなどから、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

#### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第9期	第10期	第11期
	2023年3月16日 ～ 2023年5月15日	2023年5月16日 ～ 2023年7月18日	2023年7月19日 ～ 2023年9月15日
当期分配金（税引前）	－	－	－
対基準価額比率	－	－	－
当期の収益	－	－	－
当期の収益以外	－	－	－
翌期繰越分配対象額	253円	269円	284円

### ■ 予想分配金提示型・為替ヘッジなし

当作成期の分配金は、各決算日の前営業日の基準価額に応じ、当運用報告書「各ファンドの概要」分配方針などから基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

#### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第9期	第10期	第11期
	2023年3月16日 ～ 2023年5月15日	2023年5月16日 ～ 2023年7月18日	2023年7月19日 ～ 2023年9月15日
当期分配金（税引前）	20円	40円	60円
対基準価額比率	0.20%	0.38%	0.56%
当期の収益	20円	40円	60円
当期の収益以外	－	－	－
翌期繰越分配対象額	530円	571円	852円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■各ファンド

「ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド」および「ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド」への投資を通じ、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお「予想分配金提示型・為替ヘッジあり」については、実質組入外貨建資産において、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

## ■ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド

北米の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

引き続き、SDGsを含むESG分析を通して銘柄選択を行い、最長15年までのラダー型ポートフォリオを構成し、社債市場全体（投資適格）を上回るリスク・リターン効率をめざします。

## ■ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド

欧州の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

引き続き、SDGsを含むESG分析を通して銘柄選択を行い、最長15年までのラダー型ポートフォリオを構成し、社債市場全体（投資適格）を上回るリスク・リターン効率をめざします。

# ファンドデータ

## ニッセイSDGsインカムファンド（予想分配金提示型・為替ヘッジあり）の組入資産の内容

### 組入ファンド

	第11期末 2023年9月15日
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	67.8%
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	32.9

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。

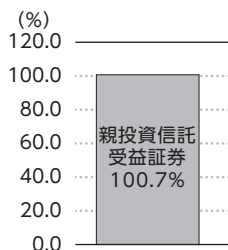
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

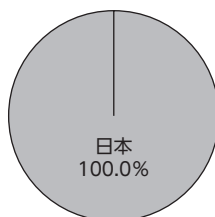
項目	第9期末 2023年5月15日	第10期末 2023年7月18日	第11期末 2023年9月15日
純資産総額	5,101,767円	4,988,538円	14,877,064円
受益権総口数	6,175,326口	6,134,107口	18,714,809口
1万口当たり基準価額	8,262円	8,132円	7,949円

(注) 当作成期間（第9期～第11期）中における追加設定元本額は12,792,937円、同解約元本額は41,219円です。

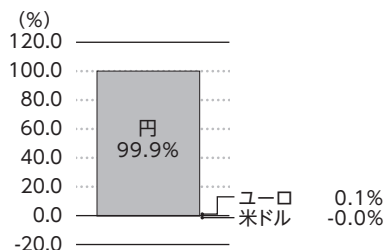
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年9月15日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注2) 通貨別配分については、実質組入比率を記載しています。

## ニッセイSDGsインカムファンド（予想分配金提示型・為替ヘッジなし）の組入資産の内容

### ■組入ファンド

	第11期末 2023年9月15日
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	67.2%
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	32.6

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

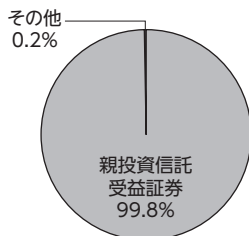
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■純資産等

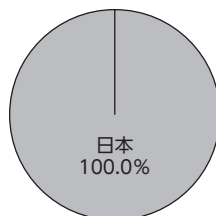
項目	第9期末 2023年5月15日	第10期末 2023年7月18日	第11期末 2023年9月15日
純資産総額	53,768,930円	54,044,191円	44,978,767円
受益権総口数	52,671,677口	51,726,355口	41,924,112口
1万口当たり基準価額	10,208円	10,448円	10,729円

(注) 当作成期間（第9期～第11期）中における追加設定元本額は562,106円、同解約元本額は11,273,984円です。

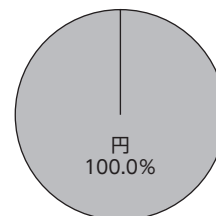
### ■資産別配分



### ■国別配分



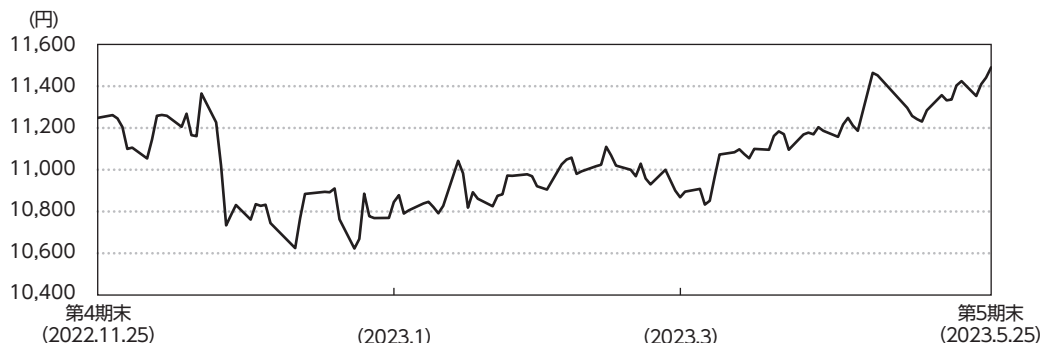
### ■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年9月15日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

# ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンドの概要

## ■基準価額の推移



## ■上位銘柄

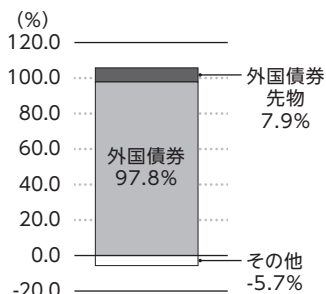
銘柄名	通貨	比率
US 10YR T-NOTE FUTURE 202306 買	米ドル	8.4%
FISERV INC 3.5% 2029/7/1	米ドル	4.3
WHIRLPOOL CORP 4.75% 2029/2/26	米ドル	4.2
AMAZON.COM INC 3.8% 2024/12/5	米ドル	4.1
CVS HEALTH CORP 4.875% 2035/7/20	米ドル	3.6
ABBOTT LABORATORIES 4.75% 2036/11/30	米ドル	3.6
CNH INDUSTRIAL CAP LLC 1.95% 2023/7/2	米ドル	3.5
US BANCORP 4.839% 2034/2/1	米ドル	3.3
BOSTON SCIENTIFIC CORP 1.9% 2025/6/1	米ドル	3.3
APPLE INC 3.35% 2032/8/8	米ドル	3.2
組入銘柄数		49

## ■1万口当たりの費用明細

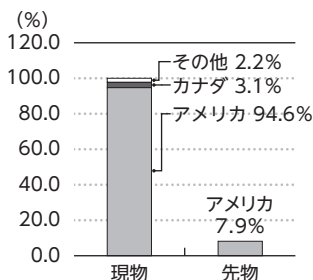
2022.11.26~2023.5.25

項目	金額
売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (0) (0)
合計	1

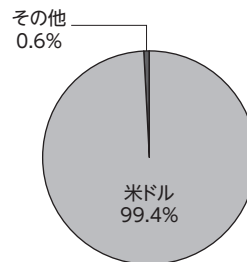
## ■資産別配分



## ■国別配分



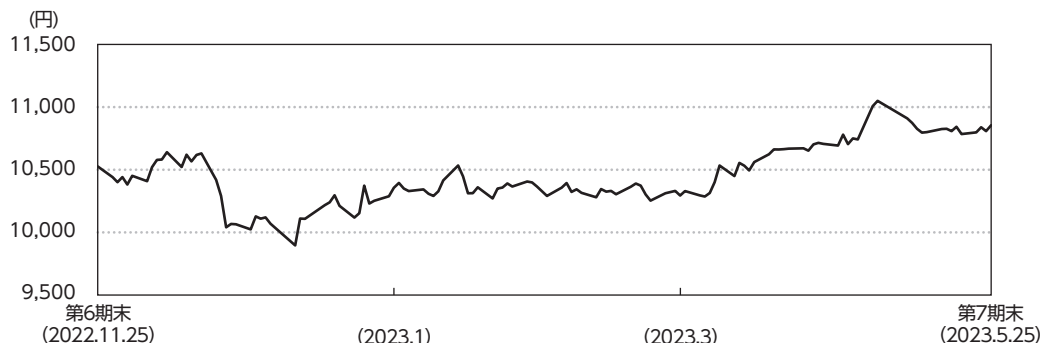
## ■通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。
- (注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年5月25日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。
- (注3) 国別配分における海外先物は上場取引所の国・地域に基づき開示しています。
- (注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

# ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドの概要

## ■ 基準価額の推移



## ■ 上位銘柄

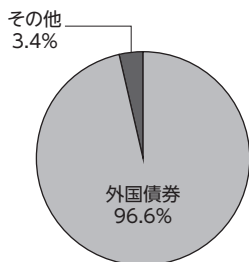
銘柄名	通貨	比率
VANTAGE TOWERS AG 0.0% 2023/5/26	ユーロ	4.2%
CADENT FINANCE PLC 0.625% 2024/9/22	ユーロ	3.7%
ABN AMRO BANK NV 4.5% 2034/11/21	ユーロ	3.5%
CIE DE SAINT-GOBAIN 1.875% 2031/3/15	ユーロ	3.5%
BPCE SA 1.375% 2026/3/23	ユーロ	3.5%
TELIA CO AB 2.125% 2034/2/20	ユーロ	3.3%
TENNET HOLDING BV 2.0% 2034/6/5	ユーロ	3.1%
HSBC HOLDINGS PLC 3.125% 2028/6/7	ユーロ	3.1%
BANQUE FED CRED MUTUEL 3.75% 2033/2/1	ユーロ	3.0%
ENGIE SA 1.0% 2036/10/26	ユーロ	2.9%
組入銘柄数		52

## ■ 1万口当たりの費用明細

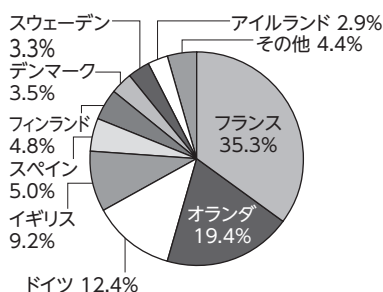
2022.11.26～2023.5.25

項目	金額
その他費用	1円
(保管費用)	(1)
(その他)	(0)
合計	1

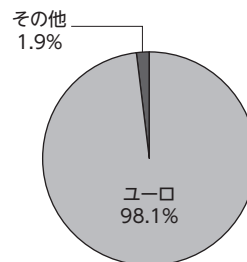
## ■ 資産別配分



## ■ 国別配分



## ■ 通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。
- (注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年5月25日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。
- (注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金			
(設定日)	円	円	%	円	%	%	百万円
2021年12月20日	10,000	—	—	10,000	—	—	1
1期(2022年1月17日)	9,761	0	△2.4	9,761	96.9	—	0.9
2期(2022年3月15日)	9,147	0	△6.3	9,147	98.8	—	1
3期(2022年5月16日)	8,734	0	△4.5	8,734	99.4	—	1
4期(2022年7月15日)	8,570	0	△1.9	8,570	104.9	2.2	1
5期(2022年9月15日)	8,367	0	△2.4	8,367	103.6	△0.6	1
6期(2022年11月15日)	8,170	0	△2.4	8,170	93.8	0.6	1
7期(2023年1月16日)	8,365	0	2.4	8,365	89.8	5.6	4
8期(2023年3月15日)	8,177	0	△2.2	8,177	98.3	3.1	4
9期(2023年5月15日)	8,262	0	1.0	8,262	98.9	5.4	5
10期(2023年7月18日)	8,132	0	△1.6	8,132	96.1	△0.4	4
11期(2023年9月15日)	7,949	0	△2.3	7,949	97.8	△1.6	14

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 先物比率は買建比率-売建比率です。以下同じです。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注6) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

(注7) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注8) 純資産総額が単位未満の場合は、小数で記載しています。



当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率	債券 先物比率
第9期	(期首)	円	%	%	%
	2023年3月15日	8,177	—	98.3	3.1
	3月末	8,243	0.8	97.8	5.0
	4月末	8,249	0.9	98.0	3.8
	(期末)				
第10期	2023年5月15日	8,262	1.0	98.9	5.4
	(期首)				
	2023年5月15日	8,262	—	98.9	5.4
	5月末	8,164	△1.2	99.5	5.5
	6月末	8,088	△2.1	101.0	5.5
第11期	(期末)				
	2023年7月18日	8,132	△1.6	96.1	△0.4
	(期首)				
	2023年7月18日	8,132	—	96.1	△0.4
	7月末	8,099	△0.4	98.4	△0.4
8月末	8,007	△1.5	96.1	△0.5	
(期末)					
2023年9月15日	7,949	△2.3	97.8	△1.6	

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年3月16日～2023年9月15日

	第9期～第11期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	千口 5,810	千円 6,983	千口 449	千円 523
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	2,965	3,435	277	310

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年3月16日～2023年9月15日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2023年9月15日現在

種類	第8期末	第11期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	千口 2,979	千口 8,341	千円 10,088
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	1,572	4,260	4,897

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるマザーファンド全体の口数は、ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンドが9,309,985千口、ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドが15,328,861千口です。

投資信託財産の構成

2023年9月15日現在

項目	第11期末	
	評価額	比率
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	千円 10,088	% 67.1
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	4,897	32.6
コール・ローン等、その他	51	0.3
投資信託財産総額	15,037	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月15日における邦貨換算レートは、1米ドル147.62円、1ユーロ157.01円です。

(注2) ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（11,128,723千円）の投資信託財産総額（11,262,530千円）に対する比率は98.8%です。

ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（17,542,258千円）の投資信託財産総額（17,624,052千円）に対する比率は99.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2023年5月15日)	(2023年7月18日)	(2023年9月15日)現在
	第9期末	第10期末	第11期末
<b>(A) 資産</b>	<b>10,460,632円</b>	<b>9,934,958円</b>	<b>29,755,251円</b>
コール・ローン等	7,145	7,286	9,069
ニッセイSDGs北米クレジット マザーファンド(評価額)	3,481,128	3,322,174	10,088,733
ニッセイSDGs欧州クレジット マザーファンド(評価額)	1,701,894	1,684,951	4,897,980
未収入金	5,270,465	4,920,547	14,759,469
<b>(B) 負債</b>	<b>5,358,865</b>	<b>4,946,420</b>	<b>14,878,187</b>
未払金	5,351,081	4,938,385	14,868,125
未払信託報酬	7,723	7,971	9,970
その他未払費用	61	64	92
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>5,101,767</b>	<b>4,988,538</b>	<b>14,877,064</b>
元本	6,175,326	6,134,107	18,714,809
次期繰越損益金	△ 1,073,559	△ 1,145,569	△ 3,837,745
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>6,175,326口</b>	<b>6,134,107口</b>	<b>18,714,809口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>8,262円</b>	<b>8,132円</b>	<b>7,949円</b>

(注1) 当作成期首元本額 5,963,091円  
 当作成期中追加設定元本額 12,792,937円  
 当作成期中一部解約元本額 41,219円

(注2) 元本の欠損  
 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,837,745円です。

## 損益の状況

（第9期 2023年3月16日～2023年5月15日）

（第10期 2023年5月16日～2023年7月18日）

（第11期 2023年7月19日～2023年9月15日）

項目	第9期	第10期	第11期
(A) 有価証券売買損益	59,475円	△ 61,054円	△ 180,929円
売    買    益	250,869	277,943	262,935
売    買    損	△ 191,394	△ 338,997	△ 443,864
(B) 信託報酬等	△ 7,784	△ 18,127	△ 28,816
(C) 当期損益金(A+B)	51,691	△ 79,181	△ 209,745
(D) 前期繰越損益金	△ 305,271	△ 251,883	△ 331,064
(分配準備積立金)	( 50,887)	( 73,391)	( 83,517)
(繰越欠損金)	(△ 356,158)	(△ 325,274)	(△ 414,581)
(E) 追加信託差損益金*	△ 819,979	△ 814,505	△3,296,936
(配当等相当額)	( 82,375)	( 82,059)	( 421,650)
(売買損益相当額)	(△ 902,354)	(△ 896,564)	(△3,718,586)
(F) 合計(C+D+E)	△1,073,559	△1,145,569	△3,837,745
次期繰越損益金(F)	△1,073,559	△1,145,569	△3,837,745
追加信託差損益金	△ 819,979	△ 814,505	△3,296,936
(配当等相当額)	( 82,610)	( 82,059)	( 436,433)
(売買損益相当額)	(△ 902,589)	(△ 896,564)	(△3,733,369)
分配準備積立金	73,880	83,517	96,734
繰越欠損金	△ 327,460	△ 414,581	△ 637,543

(注1) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (B)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (D)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (E)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	第9期	第10期	第11期
(a) 経費控除後の配当等収益	22,993円	10,126円	13,217円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	82,610円	82,059円	436,433円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	50,887円	73,391円	83,517円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	156,490円	165,576円	533,167円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	253.41円	269.93円	284.89円
(g) 分配金	0円	0円	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円	0円	0円

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
(設定日) 2021年12月20日	円 10,000	円 -	% -	円 10,000	% -	% -	百万円 1
1期(2022年1月17日)	9,867	0	△1.3	9,867	95.8	-	33
2期(2022年3月15日)	9,500	0	△3.7	9,500	97.8	-	34
3期(2022年5月16日)	9,806	0	3.2	9,806	97.2	-	52
4期(2022年7月15日)	10,189	20	4.1	10,209	96.9	2.1	55
5期(2022年9月15日)	10,270	20	1.0	10,310	97.2	△0.5	54
6期(2022年11月15日)	9,992	0	△2.7	10,032	96.3	0.6	52
7期(2023年1月16日)	9,592	0	△4.0	9,632	94.7	5.9	50
8期(2023年3月15日)	9,904	0	3.3	9,944	96.7	3.0	52
9期(2023年5月15日)	10,208	20	3.3	10,268	96.8	5.3	53
10期(2023年7月18日)	10,448	40	2.7	10,548	95.4	△0.4	54
11期(2023年9月15日)	10,729	60	3.3	10,889	96.9	△1.6	44

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 先物比率は買建比率-売建比率です。以下同じです。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注6) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

(注7) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率	債券 先物比率
第9期	(期首)	円	%	%	%
	2023年3月15日	9,904	－	96.7	3.0
	3月末	9,977	0.7	96.5	5.0
	4月末	10,104	2.0	97.5	3.8
	(期末) 2023年5月15日	10,228	3.3	96.8	5.3
第10期	(期首)				
	2023年5月15日	10,208	－	96.8	5.3
	5月末	10,347	1.4	97.4	5.4
	6月末	10,739	5.2	97.8	5.4
	(期末) 2023年7月18日	10,488	2.7	95.4	△0.4
第11期	(期首)				
	2023年7月18日	10,448	－	95.4	△0.4
	7月末	10,526	0.7	96.7	△0.4
	8月末	10,836	3.7	96.0	△0.5
	(期末) 2023年9月15日	10,789	3.3	96.9	△1.6

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年3月16日～2023年9月15日

	第9期～第11期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	千口 1,547	千円 1,751	千口 7,897	千円 9,223
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	742	806	4,516	5,130

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年3月16日～2023年9月15日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2023年9月15日現在

種類	第8期末	第11期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	千口 31,338	千口 24,987	千円 30,222
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	16,537	12,763	14,673

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるマザーファンド全体の口数は、ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンドが9,309,985千口、ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドが15,328,861千口です。

投資信託財産の構成

2023年9月15日現在

項目	第11期末	
	評価額	比率
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	千円 30,222	% 66.7
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	14,673	32.4
コール・ローン等、その他	402	0.9
投資信託財産総額	45,298	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月15日における邦貨換算レートは、1米ドル147.62円、1ユーロ157.01円です。

(注2) ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（11,128,723千円）の投資信託財産総額（11,262,530千円）に対する比率は98.8%です。

ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（17,542,258千円）の投資信託財産総額（17,624,052千円）に対する比率は99.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。



資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2023年5月15日)	(2023年7月18日)	(2023年9月15日)現在
	第9期末	第10期末	第11期末
<b>(A) 資産</b>	<b>53,955,424円</b>	<b>54,339,109円</b>	<b>45,298,941円</b>
コール・ローン等	74,393	79,851	65,211
ニッセイSDGs北米クレジット マザーファンド(評価額)	35,905,054	35,721,544	30,222,097
ニッセイSDGs欧州クレジット マザーファンド(評価額)	17,551,905	18,121,193	14,673,961
未収入金	424,072	416,521	337,672
<b>(B) 負債</b>	<b>186,494</b>	<b>294,918</b>	<b>320,174</b>
未払収益分配金	105,343	206,905	251,544
未払信託報酬	80,218	86,989	67,839
その他未払費用	933	1,024	791
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>53,768,930</b>	<b>54,044,191</b>	<b>44,978,767</b>
元本	52,671,677	51,726,355	41,924,112
次期繰越損益金	1,097,253	2,317,836	3,054,655
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>52,671,677口</b>	<b>51,726,355口</b>	<b>41,924,112口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>10,208円</b>	<b>10,448円</b>	<b>10,729円</b>
(注) 当作成期首元本額	52,635,990円		
当作成期中追加設定元本額	562,106円		
当作成期中一部解約元本額	11,273,984円		

## 損益の状況

（第9期 2023年3月16日～2023年5月15日）

（第10期 2023年5月16日～2023年7月18日）

（第11期 2023年7月19日～2023年9月15日）

項目	第9期	第10期	第11期
(A) 有価証券売買損益	1,786,157円	1,532,714円	1,492,427円
売    買    益	1,789,064	1,556,203	1,641,083
売    買    損	△ 2,907	△ 23,489	△ 148,656
(B) 信託報酬等	△ 81,151	△ 88,013	△ 68,630
(C) 当期損益金(A+B)	1,705,006	1,444,701	1,423,797
(D) 前期繰越損益金	△ 113,442	1,457,798	2,186,165
(分配準備積立金)	( 2,378,178)	( 2,484,209)	( 2,186,165)
(繰越欠損金)	(△2,491,620)	(△1,026,411)	(            )
(E) 追加信託差損益金*	△ 388,968	△ 377,758	△ 303,763
(配当等相当額)	( 261,456)	( 261,332)	( 214,300)
(売買損益相当額)	(△ 650,424)	(△ 639,090)	(△ 518,063)
(F) 合計(C+D+E)	1,202,596	2,524,741	3,306,199
(G) 収益分配金	△ 105,343	△ 206,905	△ 251,544
次期繰越損益金(F+G)	1,097,253	2,317,836	3,054,655
追加信託差損益金	△ 388,968	△ 377,758	△ 303,763
(配当等相当額)	( 262,466)	( 261,432)	( 214,370)
(売買損益相当額)	(△ 651,434)	(△ 639,190)	(△ 518,133)
分配準備積立金	2,532,896	2,695,594	3,358,418
繰越欠損金	△1,046,675	-	-

(注1) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (B)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (D)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (E)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	第9期	第10期	第11期
(a) 経費控除後の配当等収益	260,061円	284,229円	235,285円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	134,061円	1,188,512円
(c) 信託約款に定める収益調整金	262,466円	261,432円	214,370円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	2,378,178円	2,484,209円	2,186,165円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	2,900,705円	3,163,931円	3,824,332円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	550.71円	611.67円	912.20円
(g) 分配金	105,343円	206,905円	251,544円
(h) 分配金 (1万口当たり)	20円	40円	60円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

# お知らせ

## ■ 自社による「予想分配金提示型・為替ヘッジあり」の設定解約状況

当作成期における自社による当ファンドの設定解約はありません。なお当作成期末現在、自社による当ファンドの保有残高は0.7百万円（元本1百万円、ファンド全体の5.3%）です。当社は当該保有分を解約することがあります。

## ■ 各ファンドの約款変更

・ 以下の変更に伴い、関連条項に所要の変更を行いました。

- ① デリバティブ取引の利用目的を明確化
- ② 信託期間の延長

(2023年6月16日)

## ■ 「予想分配金提示型・為替ヘッジあり」の関連会社の実質保有比率

2023年8月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドの信託財産において、委託会社の株主である日本生命保険相互会社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に22.5%保有しています。当該実質保有分は、日本生命保険相互会社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

## ■ 「予想分配金提示型・為替ヘッジなし」の関連会社の実質保有比率

2023年8月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドの信託財産において、委託会社の株主である日本生命保険相互会社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に22.5%保有しています。当該実質保有分は、日本生命保険相互会社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

# 各ファンドの概要

		予想分配金提示型・為替ヘッジあり	予想分配金提示型・為替ヘッジなし
商 品 分 類	追加型投信／海外／債券		
信 託 期 間	2021年12月20日～2044年3月15日		
運 用 方 針	下記マザーファンド受益証券への投資を通じて、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
	実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ニッセイSDGs インカムファンド	「ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド」および「ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド」受益証券	
	ニッセイSDGs 北米クレジット マザーファンド	北米の企業が発行する社債	
	ニッセイSDGs 欧州クレジット マザーファンド	欧州の企業が発行する社債	
運 用 方 法	ニッセイSDGs インカムファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイSDGs 北米クレジット マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイSDGs 欧州クレジット マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	

分 配 方 針	<p>毎年1・3・5・7・9・11月の各15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。</p> <p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。</p> <p>収益分配方針に基づき、原則として決算日の前営業日の基準価額（1万口当たり。支払い済みの分配金累計額は加算しません。）に応じて、以下の金額の分配をめざします。</p>	
	<b>決算日の前営業日の基準価額</b>	<b>分配金額（1万口当たり、税引前）</b>
	10,100円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
	10,100円以上10,400円未満	20円
	10,400円以上10,700円未満	40円
	10,700円以上11,000円未満	60円
	11,000円以上	80円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分配対象額が少額の場合、あるいは決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。また、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。</li> <li>・基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。</li> <li>・基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。</li> <li>・分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次回決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。</li> </ul> <p>※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p> <p>※将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。</p>	

# ニッセイSDGs北米クレジット マザーファンド

## 運用報告書

### 第5期

(計算期間：2022年11月26日～2023年5月25日)

運用方針	主に提供する製品・サービスを通じてSDGs達成にプラスの貢献をしている企業群から、ESG評価、バリュエーション評価等（信用力評価に対する市場価格の割安度）を通じて選別した北米の企業が発行する社債へ投資を行うことで、安定したインカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。
	主要運用対象 北米の企業が発行する社債
	運用方法 以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 運用経過

2022年11月26日～2023年5月25日

### 海外社債市況

【ブルームバーグ米国社債インデックス（利回り）の推移】



(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

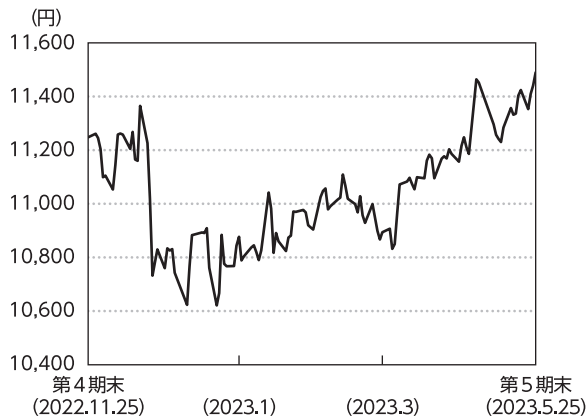
社債利回り（ブルームバーグ米国社債インデックス（利回り））は期を通じて見ると上昇しました。

米国債利回りはインフレ圧力が続く中、金融当局による金融引き締めが継続するとの思惑から上昇しました。3月には米地銀の破綻を背景に将来的な利下げが意識され低下に転じましたが、期を通じて見ると上昇しました。

米国社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は2月まで縮小傾向が続きましたが、3月以降は米地銀の破綻をはじめ、急速な利上げがもたらす信用不安が一部セクターで意識され始め大きく拡大したことから、期を通じて見ると小幅に拡大となりました。



## 基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・ 1月から2月下旬にかけて、インフレ圧力のピークアウトおよび金融引き締めペースの鈍化予想から投資家のリスク選好姿勢が高まり、社債スプレッドが縮小したこと
- ・ 4月以降、日銀による金融引き締め予想が後退したことなどから、米ドル高円安基調で推移したこと

#### <下落要因>

- ・ 12月中旬から1月中旬にかけて、日銀が10年国債利回りの目標レンジを微調整したことが金融引き締めと受け止められたことなどから、米ドル安円高基調で推移したこと
- ・ 3月を通じて米地銀の破綻をきっかけに信用不安が広がり社債スプレッドが拡大し、投資家のリスク回避の円買いを受けて米ドル安円高基調で推移したこと

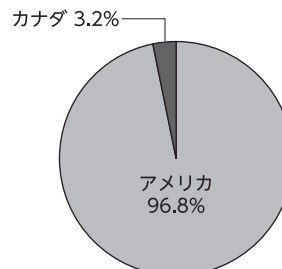
## ポートフォリオ

北米の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

### <国・地域別投資状況>

当期末における国・地域別配分は右図の通りです。

### 【国・地域別組入状況】

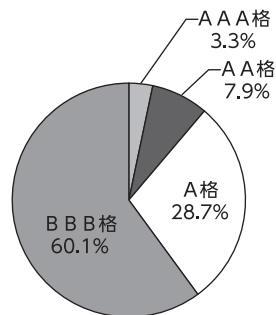


(注) 比率は対組入債券評価額比です。以下同じです。

<格付別投資状況>

SDGs、ESG（環境・社会・企業統治）評価が高く、長期保有が可能な信用力が高いと考える銘柄を中心に組み入れています。当期末の格付分布は右図の通りです。

【格付別組入状況】



(注) 格付は、ムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

## 参考指数との差異

当マザーファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はブルームバーグ米国社債トータルリターン・インデックス（円換算ベース）の残存年数1-15年のカスタムインデックスです。

当期の基準価額騰落率は+2.2%となり、参考指数騰落率（+2.7%）を下回りました。

これは、主に保有している米地銀銘柄が3月の信用不安が高まったタイミングでアンダーパフォーマンスするなど銘柄選択効果のマイナス寄与によるものです。

(注) 参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

## 今後の運用方針

北米の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

引き続き、SDGsを含むESG分析を通して銘柄選択を行い、最長15年までのラダー型ポートフォリオを構成し、社債市場全体（投資適格）を上回るリスク・リターン効率をめざします。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中	参考指数	期中	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
		騰落率		騰落率			
(設定日)	円	%		%	%	%	百万円
2020年9月9日	10,000	—	10,000	—	—	—	5,000
1期(2021年5月25日)	10,056	0.6	10,276	2.8	92.7	—	12,679
2期(2021年11月25日)	10,597	5.4	10,881	5.9	96.2	—	12,691
3期(2022年5月25日)	10,567	△0.3	10,896	0.1	98.7	—	11,842
4期(2022年11月25日)	11,248	6.4	11,577	6.3	97.0	1.0	10,837
5期(2023年5月25日)	11,490	2.2	11,894	2.7	97.8	7.9	11,634

- (注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。  
 (注2) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。  
 (注3) 先物比率は買建比率－売建比率です。以下同じです。  
 (注4) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	債券 組入比率	債券 先物比率
		%		%		
(期首)2022年11月25日	円 11,248	% —	11,577	% —	% 97.0	% 1.0
11月末	11,204	△0.4	11,516	△0.5	93.6	4.6
12月末	10,743	△4.5	11,080	△4.3	97.5	5.5
2023年1月末	10,845	△3.6	11,206	△3.2	95.4	6.9
2月末	11,048	△1.8	11,430	△1.3	98.1	4.3
3月末	11,072	△1.6	11,439	△1.2	96.5	7.5
4月末	11,186	△0.6	11,591	0.1	97.9	5.7
(期末)2023年5月25日	11,490	2.2	11,894	2.7	97.8	7.9

- (注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2022年11月26日～2023年5月25日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)	0.001% (0.001)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用 (保管費用)	1 (0)	0.008 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.004)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	1	0.009	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（11,037円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2022年11月26日～2023年5月25日

(1) 公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千米ドル 20,365	千米ドル 14,307

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(2) 先物取引の種類別取引状況

種類別		買建		売建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国	債券先物取引	百万円 2,590	百万円 2,014	百万円 736	百万円 968

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 外貨建取引の金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

主要な売買銘柄

2022年11月26日～2023年5月25日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
AMAZON.COM INC	457,729	MIDAMERICAN ENERGY CO	368,642
US BANCORP	406,053	DELL INT LLC / EMC CORP	364,404
MIDAMERICAN ENERGY CO	378,505	HEALTHCARE TRUST OF AMER	333,178
BANK OF AMERICA CORP	255,274	FIFTH THIRD BANCORP	193,838
T-MOBILE USA INC	243,565	APPLE INC	145,177
DUKE ENERGY CORP	233,642	KANSAS CITY SOUTHERN	143,052
NEXTERA ENERGY CAPITAL	231,110	VENTAS REALTY LP	139,600
AUTOZONE INC	221,430	FIFTH THIRD BANCORP	134,238
AIR LEASE CORP	167,749	KILROY REALTY LP	120,743
FIFTH THIRD BANCORP	123,781	-	-

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2023年5月25日現在

(1) 外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	88,900	81,522	11,375,651	97.8	-	61.5	25.7	10.5
合計	-	-	11,375,651	97.8	-	61.5	25.7	10.5

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額	
					千米ドル	千円
アメリカ		%		千米ドル	千米ドル	千円
社債券	ABBOTT LABORATORIES	4.7500	2036/11/30	3,000	3,008	419,741
	ABBVIE INC	4.3000	2036/05/14	2,800	2,550	355,844
	ADVANCED MICRO DEVICES	3.9240	2032/06/01	800	753	105,147
	AIR LEASE CORP	2.2000	2027/01/15	1,400	1,234	172,212
	ALEXANDRIA REAL ESTATE E	1.8750	2033/02/01	2,500	1,817	253,582
	AMAZON.COM INC	3.8000	2024/12/05	3,500	3,446	480,868
	AMERICAN TOWER CORP	3.5500	2027/07/15	1,300	1,217	169,824
	APPLE INC	3.3500	2032/08/08	2,900	2,691	375,590
	AUTOZONE INC	4.7500	2033/02/01	1,700	1,640	228,934
	BANK OF AMERICA CORP	4.1830	2027/11/25	2,000	1,910	266,521
	BECTON DICKINSON AND CO	3.7000	2027/06/06	500	479	66,887
	BOSTON SCIENTIFIC CORP	1.9000	2025/06/01	2,900	2,742	382,644
	CIGNA CORP	2.3750	2031/03/15	1,600	1,324	184,795
	CITIGROUP INC	2.0140	2026/01/25	2,500	2,348	327,755
	CNH INDUSTRIAL CAP LLC	1.9500	2023/07/02	2,900	2,889	403,213
	CVS HEALTH CORP	4.8750	2035/07/20	3,200	3,013	420,468
	DUKE ENERGY CORP	4.5000	2032/08/15	1,800	1,688	235,616
	DUKE ENERGY INDIANA LLC	6.1200	2035/10/15	1,900	1,979	276,282
	FIFTH THIRD BANCORP	4.3370	2033/04/25	900	790	110,333
	FISERV INC	3.5000	2029/07/01	3,900	3,558	496,549
	FORTIS INC	3.0550	2026/10/04	2,800	2,613	364,686
	GEORGIA-PACIFIC LLC	0.9500	2026/05/15	1,900	1,691	236,086
	GEORGIA-PACIFIC LLC	2.3000	2030/04/30	1,200	1,019	142,235
	GLOBAL PAYMENTS INC	1.2000	2026/03/01	1,500	1,337	186,610
	JPMORGAN CHASE & CO	0.8240	2025/06/01	500	474	66,255
	JPMORGAN CHASE & CO	4.0800	2026/04/26	1,100	1,076	150,176
	JPMORGAN CHASE & CO	1.7640	2031/11/19	1,200	940	131,284
	JPMORGAN CHASE & CO	1.9530	2032/02/04	1,200	945	131,903
	MASCO CORP	2.0000	2030/10/01	1,200	943	131,679
	MICRON TECHNOLOGY INC	2.7030	2032/04/15	3,300	2,570	358,701
	NEXTERA ENERGY CAPITAL	5.0500	2033/02/28	1,700	1,670	233,152
	NVIDIA CORP	2.8500	2030/04/01	1,000	905	126,329
	PACIFIC LIFE CORP	6.6000	2033/09/15	900	973	135,887
	PACKAGING CORP OF AMERIC	3.6500	2024/09/15	2,500	2,446	341,367
	REPUBLIC SERVICES INC	1.7500	2032/02/15	1,300	1,021	142,514
	REPUBLIC SERVICES INC	2.3750	2033/03/15	2,100	1,699	237,199
	ROPER TECHNOLOGIES INC	1.0000	2025/09/15	1,200	1,092	152,409
	ROPER TECHNOLOGIES INC	1.7500	2031/02/15	1,300	1,022	142,636
	T-MOBILE USA INC	2.5500	2031/02/15	2,500	2,078	290,058

## ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額	
					千米ドル	千円
アメリカ		%		千米ドル	千米ドル	千円
社債券	T-MOBILE USA INC	5.0500	2033/07/15	1,800	1,759	245,553
	US BANCORP	4.8390	2034/02/01	3,000	2,775	387,256
	VERISK ANALYTICS INC	4.0000	2025/06/15	600	583	81,459
	WHIRLPOOL CORP	4.7500	2029/02/26	3,600	3,535	493,367
	WRKCO INC	4.9000	2029/03/15	2,500	2,435	339,779
	WRKCO INC	3.0000	2033/06/15	200	159	22,265
	ZIMMER BIOMET HOLDINGS	3.0500	2026/01/15	2,800	2,665	371,977
合計		-	-	-	-	11,375,651

### (2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当期末	
		買建額	売建額
		百万円	百万円
外国	5 YEAR US TREASURY NOTE FUTURES	-	106
	10 YEAR US TREASURY NOTE FUTURES	981	-
	US 10YEAR ULTRA FUTURES	49	-

(注1) 外貨建ての評価額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

### 投資信託財産の構成

2023年5月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	11,375,651	97.7
コール・ローン等、その他	273,229	2.3
投資信託財産総額	11,648,880	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお5月25日における邦貨換算レートは、1米ドル139.54円です。

(注2) 外貨建純資産（11,563,973千円）の投資信託財産総額（11,648,880千円）に対する比率は99.3%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年5月25日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>11,643,947,762円</b>
コール・ローン等	77,527,083
公社債(評価額)	11,375,651,604
未収利息	108,550,091
前払費用	8,634,862
差入委託証拠金	73,584,122
<b>(B) 負債</b>	<b>9,011,107</b>
未払金	8,866,235
未払解約金	144,865
その他未払費用	7
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>11,634,936,655</b>
元本	10,126,049,960
次期繰越損益金	1,508,886,695
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>10,126,049,960口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>11,490円</b>

- (注1) 期首元本額 9,635,527,863円  
 期中追加設定元本額 1,416,263,572円  
 期中一部解約元本額 925,741,475円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
- ニッセイSDGs北米クレジットファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家限定) 7,090,736,714円  
 ニッセイSDGs北米クレジットファンド (為替ヘッジあり) (非課税適格機関投資家限定) 2,871,231,652円  
 ニッセイSDGsインカムファンド (資産成長型・為替ヘッジあり) 15,690,650円  
 ニッセイSDGsインカムファンド (資産成長型・為替ヘッジなし) 113,577,287円  
 ニッセイSDGsインカムファンド (予想分配金提示型・為替ヘッジあり) 3,004,390円  
 ニッセイSDGsインカムファンド (予想分配金提示型・為替ヘッジなし) 31,809,267円

損益の状況

当期 (2022年11月26日~2023年5月25日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>209,078,822円</b>
受取利息	208,794,517
その他収益金	295,088
支払利息	△ 10,783
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>53,428,801</b>
売買益	189,307,373
売買損	△ 135,878,572
<b>(C) 先物取引等損益</b>	<b>△ 11,323,859</b>
取引益	25,800,439
取引損	△ 37,124,298
<b>(D) 信託報酬等</b>	<b>△ 912,036</b>
<b>(E) 当期損益金(A + B + C + D)</b>	<b>250,271,728</b>
<b>(F) 前期繰越損益金</b>	<b>1,202,038,987</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>158,119,114</b>
<b>(H) 解約差損益金</b>	<b>△ 101,543,134</b>
<b>(I) 合計(E + F + G + H)</b>	<b>1,508,886,695</b>
<b>次期繰越損益金(I)</b>	<b>1,508,886,695</b>

- (注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (G)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (H)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。



# ニッセイSDGs欧州クレジット マザーファンド

## 運用報告書

### 第7期

(計算期間：2022年11月26日～2023年5月25日)

運用方針	主に提供する製品・サービスを通じてSDGs達成にプラスの貢献をしている企業群から、ESG評価、バリュエーション評価等（信用力評価に対する市場価格の割安度）を通じて選別した欧州の企業が発行する社債へ投資を行うことで、安定したインカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。
	主要運用対象 欧州の企業が発行する社債
	運用方法 以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 運用経過

2022年11月26日～2023年5月25日

### 海外社債市況

【ブルームバーグ欧州社債インデックス（利回り）の推移】



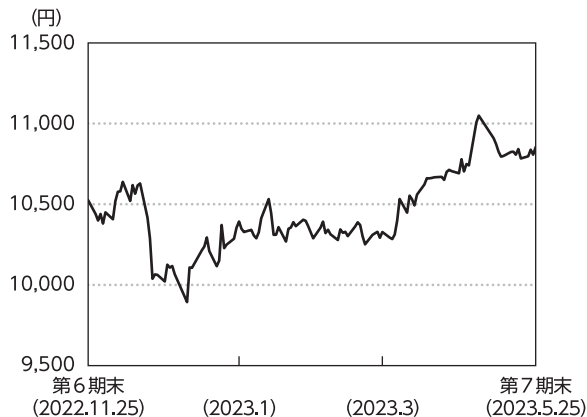
(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

社債利回り（ブルームバーグ欧州社債インデックス（利回り））は期を通じて見ると上昇しました。

欧州国債利回りはインフレ圧力が続く中、金融当局による金融引き締めが継続するとの思惑から上昇しました。3月には米地銀の破綻を受けて欧州域内でも大手銀が経営難から吸収合併されるなど信用不安が高まり、将来的な利下げが意識され低下に転じましたが、期を通じて見ると上昇しました。

欧州社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は2月までじわじわと縮小が続きましたが、3月以降は米地銀の破綻をはじめ、急速な利上げがもたらす信用不安が一部セクターで現出し始めたことから大きく拡大し、期を通じて見ると小幅に縮小となりました。

## 基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・ 1月から2月下旬にかけて、インフレ圧力のピークアウトおよび金融引き締めペースの鈍化予想から投資家のリスク選好姿勢が高まり、社債スプレッドが縮小したこと
- ・ 4月以降、日銀による金融引き締め予想が後退したことなどから、ユーロ高円安基調で推移したこと

#### <下落要因>

- ・ 12月、欧州中央銀行（ECB）会合で利上げを決定するとともに将来のさらなる利上げも示唆したことや、ドイツ政府がエネルギー危機対策費用等をまかなうために2023年の国債発行額が過去最高になると予告したことなどを受け、欧州国債利回りが大きく上昇（債券価格は下落）したこと

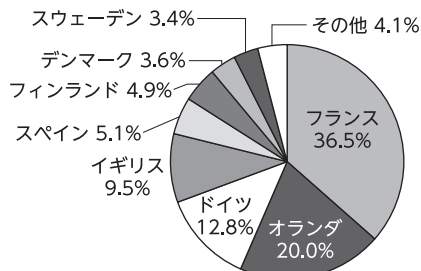
## ポートフォリオ

欧州の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

### <国・地域別投資状況>

当期末における国・地域別配分は右図の通りです。

### 【国・地域別組入状況】

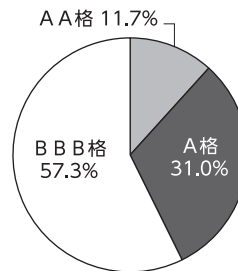


(注) 比率は対組入債券評価額比です。以下同じです。

<格付別投資状況>

SDGs、ESG（環境・社会・企業統治）評価が高く、長期保有が可能な信用力が高いと考える銘柄を中心に組み入れています。当期末の格付分布は右図の通りです。

【格付別組入状況】



(注) 格付は、ムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

参考指数との差異

当マザーファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はブルームバーグ汎欧州総合社債トータルリターン・インデックス（円換算ベース）の残存年数1-15年のカスタムインデックスです。

当期の基準価額騰落率は+3.1%となり、参考指数騰落率（+2.3%）を上回りました。

これは、主に参考指数に含まれるイギリス・ポンド建て債券を非保有としていた効果がプラスに寄与したことによるものです。

(注) 参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

今後の運用方針

欧州の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

引き続き、SDGsを含むESG分析を通して銘柄選択を行い、最長15年までのラダー型ポートフォリオを構成し、社債市場全体（投資適格）を上回るリスク・リターン効率をめざします。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	参考指数	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		騰落率		
	円	%		%	%	百万円
3期(2021年5月25日)	11,381	4.2	11,575	5.8	95.9	23,462
4期(2021年11月25日)	11,075	△2.7	11,293	△2.4	94.0	23,049
5期(2022年5月25日)	10,377	△6.3	10,662	△5.6	98.5	22,393
6期(2022年11月25日)	10,525	1.4	10,767	1.0	97.7	17,819
7期(2023年5月25日)	10,854	3.1	11,020	2.3	96.6	17,676

(注) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	債券 組入比率
		%		%	
(期首)2022年11月25日	10,525	—	10,767	—	97.7
11月末	10,440	△0.8	10,660	△1.0	95.0
12月末	10,067	△4.4	10,237	△4.9	97.1
2023年1月末	10,306	△2.1	10,529	△2.2	97.0
2月末	10,392	△1.3	10,582	△1.7	96.7
3月末	10,532	0.1	10,715	△0.5	96.6
4月末	10,741	2.1	10,923	1.4	96.6
(期末)2023年5月25日	10,854	3.1	11,020	2.3	96.6

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2022年11月26日～2023年5月25日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	1円 (1)	0.005% (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	1	0.005	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,450円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2022年11月26日～2023年5月25日

公社債

			買付額	売付額
外国	ユーロ	オランダ	千ユーロ 6,105	千ユーロ 7,089 (1,715)
		ルクセンブルグ	社債券 -	社債券 1,493
		フランス	社債券 5,161	社債券 2,455
		ドイツ	社債券 -	社債券 1,393
		その他	社債券 -	社債券 1,830

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子は含まれていません）。

(注2) 地域は発行通貨によって区分しています。また、その他には国際機関等を含みます。以下同じです。

(注3) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注4) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2022年11月26日～2023年5月25日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
ABN AMRO BANK NV	618,792	LEASEPLAN CORPORATION NV	660,151
BANQUE FED CRED MUTUEL	511,903	UBS GROUP AG	264,743
VONOVIA FINANCE BV	244,969	VONOVIA FINANCE BV	242,983
CREDIT AGRICOLE SA	218,594	UNIBAIL-RODAMCO SE	231,723
—	—	HOLCIM FINANCE LUX SA	217,567
		BAYER AG	203,122
		RELX FINANCE BV	145,483
		CREDIT AGRICOLE SA	121,707

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2023年5月25日現在

外国（外貨建）公社債

区分	額面金額	評価額		当期末 組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
									千ユーロ
ユーロ	アイルランド	4,000	3,410	511,521	2.9	—	2.9	—	—
	オランダ	26,400	22,830	3,424,107	19.4	—	18.0	—	1.4
	ルクセンブルグ	1,500	1,213	182,036	1.0	—	1.0	—	—
	フランス	46,600	41,551	6,231,966	35.3	—	23.6	10.1	1.5
	ドイツ	16,200	14,620	2,192,740	12.4	—	6.7	—	5.8
	スペイン	6,400	5,854	878,004	5.0	—	—	5.0	—
	フィンランド	5,900	5,599	839,838	4.8	—	—	2.5	2.2
	その他	20,600	18,805	2,820,402	16.0	—	9.6	1.1	5.2
	合計	—	—	17,080,617	96.6	—	61.8	18.8	16.0

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名	利率	償還年月日	評価額			
			額面金額	千ユーロ	千円 邦貨換算金額	
ユーロ						
	%		千ユーロ	千ユーロ	千円	
アイルランド						
社債券	CLOVERIE PLC ZURICH INS	1.5000	2028/12/15	2,000	1,801	270,245
	LINDE PLC	1.6250	2035/03/31	2,000	1,608	241,275
小計						
	-	-	-	-	511,521	
オランダ						
特殊債券	TENNET HOLDING BV	2.0000	2034/06/05	4,300	3,703	555,451
	TENNET HOLDING BV	0.8750	2035/06/16	1,000	750	112,588
社債券	ABN AMRO BANK NV	4.5000	2034/11/21	4,200	4,161	624,095
	DEUTSCHE TELEKOM INT FIN	7.5000	2033/01/24	2,000	2,582	387,374
	ENBW INTL FINANCE BV	1.8750	2033/10/31	1,700	1,402	210,405
	ENEL FINANCE INTL NV	0.8750	2036/06/17	5,000	3,230	484,472
	ING GROEP NV	2.1250	2031/05/26	1,500	1,369	205,429
	KONINKLIJKE KPN NV	5.6250	2024/09/30	1,600	1,643	246,468
	UNILEVER FINANCE	2.2500	2034/05/16	1,800	1,591	238,753
	VONOVIA FINANCE BV	2.1250	2030/03/22	1,800	1,459	218,900
	VONOVIA FINANCE BV	1.1250	2034/09/14	1,500	934	140,167
小計						
	-	-	-	-	3,424,107	
ルクセンブルグ						
社債券	NESTLE FINANCE INTL LTD	1.5000	2035/03/29	1,500	1,213	182,036
小計						
	-	-	-	-	182,036	
フランス						
社債券	ARKEMA	1.5000	2027/04/20	1,000	930	139,608
	BANQUE FED CRED MUTUEL	3.7500	2033/02/01	3,700	3,588	538,150
	BPCE SA	1.3750	2026/03/23	4,400	4,087	613,045
	CAPGEMINI SE	1.7500	2028/04/18	1,200	1,093	163,983
	CAPGEMINI SE	1.1250	2030/06/23	2,000	1,671	250,643
	CARREFOUR	1.7500	2026/05/04	3,300	3,120	468,014
	CIE DE SAINT-GOBAIN	1.8750	2031/03/15	4,800	4,158	623,631
	CREDIT AGRICOLE SA	0.3750	2025/10/21	2,000	1,847	277,160
	CREDIT AGRICOLE SA	3.8750	2034/11/28	1,500	1,471	220,632
	DANONE SA	0.7090	2024/11/03	1,800	1,731	259,699
	ENGIE SA	2.1250	2032/03/30	1,000	873	131,073
	ENGIE SA	1.0000	2036/10/26	5,000	3,384	507,539
	ESSILORLUXOTTICA	0.3750	2027/11/27	1,000	880	132,085
	KLEPIERRE	1.6250	2032/12/13	4,000	3,060	459,040
	LVMH MOET HENNESSY VUITT	0.3750	2031/02/11	1,000	807	121,080
	ORANGE SA	8.1250	2033/01/28	2,500	3,335	500,239
	SUEZ	1.6250	2032/09/21	2,100	1,732	259,815
	UNIBAIL-RODAMCO SE	1.7500	2034/02/27	1,800	1,338	200,793



ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額		評価額	
						千ユーロ	千円
ユーロ		%		千ユーロ	千ユーロ	邦貨換算金額	
フランス							
社債券	UNIBAIL-RODAMCO-WESTFLD	2.0000	2032/06/29	1,300	999	149,929	
	VEOLIA ENVIRONNEMENT	6.1250	2033/11/25	1,200	1,438	215,798	
小計		-	-	-	-	6,231,966	
ドイツ							
社債券	BAYER AG	0.0500	2025/01/12	1,900	1,788	268,180	
	BAYER AG	1.3750	2032/07/06	900	703	105,581	
	E.ON SE	1.6250	2029/05/22	1,700	1,518	227,671	
	E.ON SE	0.8750	2034/10/18	1,700	1,242	186,357	
	SAP SE	1.6250	2031/03/10	3,500	3,088	463,234	
	VANTAGE TOWERS AG	0.0000	2023/05/26	5,000	4,989	748,257	
	WPP FINANCE DEUTSCHLAND	1.6250	2030/03/23	1,500	1,289	193,456	
小計		-	-	-	-	2,192,740	
スペイン							
社債券	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	0.7500	2025/06/04	2,900	2,727	409,010	
	BANCO SANTANDER SA	2.1250	2028/02/08	3,500	3,127	468,993	
小計		-	-	-	-	878,004	
フィンランド							
社債券	OP CORPORATE BANK PLC	0.3750	2024/06/19	2,700	2,597	389,562	
	STORA ENSO OYJ	2.5000	2028/03/21	3,200	3,002	450,275	
小計		-	-	-	-	839,838	
その他							
特殊債券	ORSTED A/S	1.5000	2029/11/26	1,100	962	144,413	
社債券	BRITISH TELECOMMUNICATIO	2.1250	2028/09/26	3,100	2,862	429,286	
	CADENT FINANCE PLC	0.6250	2024/09/22	4,500	4,309	646,381	
	HSBC HOLDINGS PLC	3.1250	2028/06/07	3,900	3,631	544,708	
	NYKREDIT REALKREDIT AS	0.1250	2024/07/10	1,900	1,813	272,013	
	NYKREDIT REALKREDIT AS	0.2500	2026/01/13	1,500	1,350	202,571	
	TELIA CO AB	2.1250	2034/02/20	4,600	3,874	581,026	
小計		-	-	-	-	2,820,402	
合計		-	-	-	-	17,080,617	

## 投資信託財産の構成

2023年5月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	17,080,617	96.6
コール・ローン等、その他	596,429	3.4
投資信託財産総額	17,677,046	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお5月25日における邦貨換算レートは、1ユーロ149.98円です。

(注2) 外貨建純資産（17,345,274千円）の投資信託財産総額（17,677,046千円）に対する比率は98.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年5月25日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>17,677,046,680円</b>
コール・ローン等	430,698,143
公社債(評価額)	17,080,617,030
未収利息	164,062,107
前払費用	1,669,400
<b>(B) 負債</b>	<b>220,618</b>
未払解約金	220,184
その他未払費用	434
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>17,676,826,062</b>
元本	16,285,430,945
次期繰越損益金	1,391,395,117
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>16,285,430,945口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>10,854円</b>

(注1) 期首元本額 16,929,652,297円  
 期中追加設定元本額 962,067,026円  
 期中一部解約元本額 1,606,288,378円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイSDGs欧州クレジットファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家限定)	11,729,463,698円
ニッセイSDGs欧州クレジットファンド (為替ヘッジあり) (非課税適格機関投資家限定)	4,471,847,186円
ニッセイSDGsインカムファンド (資産成長型・為替ヘッジあり)	8,046,293円
ニッセイSDGsインカムファンド (資産成長型・為替ヘッジなし)	58,216,746円
ニッセイSDGsインカムファンド (予想分配金提示型・為替ヘッジあり)	1,540,859円
ニッセイSDGsインカムファンド (予想分配金提示型・為替ヘッジなし)	16,316,163円

損益の状況

当期 (2022年11月26日~2023年5月25日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>186,145,431円</b>
受取利息	184,188,114
その他収益金	2,021,040
支払利息	△ 63,723
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>376,196,514</b>
売買益	753,322,805
売買損	△ 377,126,291
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 926,136</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>561,415,809</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>889,453,189</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>40,936,290</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 100,410,171</b>
<b>(H) 合計(D + E + F + G)</b>	<b>1,391,395,117</b>
<b>次期繰越損益金(H)</b>	<b>1,391,395,117</b>

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

## 指数に関して

### ■ ファンドのベンチマーク等について

\*各マザーファンドの参考指数の詳細です。

- ・ブルームバーグ米国社債トータルリターン・インデックス（円換算ベース）の残存年数1－15年のカスタムインデックス

ブルームバーグ米国社債トータルリターン・インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、米ドル建て投資適格社債市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

- ・ブルームバーグ汎欧州総合社債トータルリターン・インデックス（円換算ベース）の残存年数1－15年のカスタムインデックス

ブルームバーグ汎欧州総合社債トータルリターン・インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、汎欧州通貨建て投資適格社債市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。